

社会福祉法人 新生会

いまむら やすし
今村 寧 理事長(44)

利用者の生き方尊重



「他人の痛みを自分の事として感ずる感性と、人が等しく生きる福祉観を基に」を理念としながら、特別養護老人ホームをはじめ、デイサービス・グループホーム・ショートステイ、有料老人ホームなどを広く展開している社会福祉法人新生会(揖斐郡池田町本郷)。3代目の今村寧理事長は「根源は生活。人によって生活は大きく異なり、それに対して非常にきめ細かい配慮はもちろん、利用者の自己決定を尊重し、その人らしい生き方をサポートしていく」と運営理念を語る。

特別養護老人ホームを立ち上げ、意志を具現化。姉で先代の石原美智子理事長が介護の専門性を追求することで大きく発展させ、一昨年4月に今村理事長が受け継いだ。

■プライバシーを守る

「父も私もベースは往診だが、父の時代、今のよう在宅医療の考えは普及しておらず、医療とともに生活を安定させる場所を」と、特別養護老人ホームを造った。今は家で生活したいという希望も多く、グループ企業である新生メディカルでの訪問介護と一体となって、在宅から施設までどんな方でも対応できるように取り組んでいる」と話す。

施設と一口に言っても、生活様式はさまざま。有料老人ホームでも一戸建ての「サンヒルズヴィラ・アンキーン」(池田町)、ホテル感覚の「シティタワー・アンキーン」(岐阜

市)、マンションタイプの「ほづみ駅前アンキーン」(瑞穂市)と同じタイプを造らず、いろいろな利用者が入れる施設を順次造ってきた。池田町白鳥ではリハビリに特化した施設を立ち上げた。「リハビリはダイ

エットに似ていて長続きしない。生活の中で自然に動かなければいけない生活リハビリを基本にした」と今村理事長。「二人一人のプライバシーをしっかり守った豪華な個室化の傾向もあるが、白鳥では個室型多床室というプライバシーを守る空間を確保しながらも最小限にすることで価格を安くし、介護も楽に行える施設を造った。おそらく、日本でうちだけでは」と話す。

■質も一度見直す

「多様な施設を次々に建設してきたが、今後は拡張ではなく、質をも一度見直し、追求したい。質の確保は重要」と今村理事長。「利用者の『尊厳と自立』をキーワードに掲げているが、何でも手伝うのではなく、できることはやってみよう力加減がプロ。家政婦とヘルパーは違う。相手の気持ちをくみ取った見極めが

必要。自分で考え、意欲を持って取り組む職員の育成に力を入れている」と言う。そのために立ち上げたサンビレッジ国際医療福祉専門学校で技術とともに根本の理念を理解した人材を現場主義で育成。さらに医師や看護師の卵である学生とケアマネジャー、リハビリ職といった職種間の壁を取り払った「ごちゃ混ぜ研修」を実施するなど独自の発想で、質の向上に務めている。

「最終的な目標は医療と介護が一つになったいい福祉の町。自立や尊厳といった子どもたちの福祉教育を充実させ、幼いころから福祉の心を持った住民を育てる。あくまで我々が直接携わるのではなく、育てるのは住民。そのためのハードは整っている。ソフト面でさまざまな仕掛けをしながら、住んでいて心が温かい町、理想の地域社会に近づきたい」と意欲を燃やす。



複合施設のサンビレッジ岐阜が入る岐阜シティタワー43(岐阜市橋本町)

西濃地方を発信地として、広がる、つながる、サンビレッジの理念



- サンビレッジ宮路
- リハビリセンター白鳥
- サンビレッジ大垣
- サンビレッジ岐阜
- サンビレッジ瑞穂
- サンビレッジ国際医療福祉専門学校
- 協力事業者 新生メディカル NPO法人 校舎のない学校



社会福祉法人 新生会

〒503-2417
岐阜県揖斐郡池田町本郷1501
TEL.0585-45-5545
FAX.0585-45-7131